



表紙の写真

サンヴァリエ桜堤  
東京都武蔵野市

江戸時代から続く桜の名所、玉川上水や、小金井公園に程近い立地のサンヴァリエ桜堤。ここもまた古から美しい桜が、団地の春を彩ってきました。建替事業では、この桜の木を含む樹木の保存のほか、ピオトープの創出、団地内を流れる仙川の水辺整備などが行われ、自然と一体化した住空間として生まれ変わりました。

※ アンケートを実施しています ※

同封のがき、及びUR都市機構のホームページにて、本誌に関するアンケートを実施しております。ご意見、ご感想をお寄せください。

編集後記

“街の元気”の礎には、“地球の元気”があります。まちづくりのプロとしてそのことを念頭に置き、UR都市機構では温暖化対策や環境共生技術の研鑽、エコライフの提案などを行って参りました。今号では、改めて「環境」をテーマに掲げ、環境のエキスパートの方々から提言をお聞きするとともに、温暖化対策実行計画や環境共生型のまちづくりの事例をご紹介いたしました。暮らしの現場であるとともに、CO<sub>2</sub>排出の現場ともなる“街”。その街をつくるプロデューサーとして、今後も環境への取り組みに励んで参る所存です。ご高覧いただければ幸いです。

季刊『ユアールプレス・春号』  
Vol.19 (2009年4月)

発行 / 独立行政法人都市再生機構  
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1  
横浜アイランドタワー  
Tel.045-650-0881 Fax.045-650-0889  
編集・制作 / 株式会社博報堂  
印刷 / 株式会社アイワード

財務・経営内容を報告する  
投資家等説明会を開催しました



説明会開会の挨拶をする  
小川忠男理事長

2月5日(木)東京・大手町サンケイプラザにて借入金金融機関、債券投資家、アナリスト等を対象に投資家等説明会を開催しました。UR都市機構では年2回、定期的に説明会を開催しており、今回は51社83名の参加がありました。

今回の説明会では、平成20年度計画及び見込み・経営改善計画の進捗状況などとともに、第2期中期計画、独立行政法人整理合理化計画への対応状況に

ついて説明を行いました。

UR都市機構の経営に関する事項に関しては、金融機関等から常に注目を集めています。今後も社会の要請に応えるため、投資家等説明会をはじめとして、IR活動を一層充実させていきたいと考えています。



説明会には、83名の債券投資家やアナリスト等が集まった

[http://www.ur-net.go.jp/ir/info\\_toushika.html](http://www.ur-net.go.jp/ir/info_toushika.html)

「みんなでチャレンジ」  
桜の木の移植が進んでいます



移植作業の後の記念撮影。クレーンと重機で移植工事が行われ、流山市立小山小学校の6年生が、スコップで根元に土入れをした

平成17年に、つくばエクスプレスと東武野田線の連結駅として開業した「流山おおたかの森」駅付近(千葉県流山市)では、桜の木の移植プロジェクトが進んでいます。これは、土地区画整理事業で

移転する小学校で多くの児童を見守ってきた桜を、駅前広場や街路樹として移植するというもの。大きな桜の移植は困難と言われていますが、千葉大学園芸学部の藤井英二郎教授をアドバイザーに迎え、小学校、流山市、UR都市機構が連携して「みんなでチャレンジ」と昨夏から移植前の現場見学や移植準備等を行い、卒業式を控えた2月には6年生がスコップを持って移植作業に参加しました。このプロジェクトは今後も引き続き行われ、新しい街で美しい花を咲かせる日が待たれます。

Report 団地愛好家によるイベント  
「ダンパク3」が開催されました

豊かな自然に恵まれた花見川と緑の魅力にあふれる街、花見川団地(千葉県千葉市)。1月11日、そんな花見川団地で、団地愛好家によるイベント「ダンパク3 大団地博覧会 in 花見川団地」が開催されました。



このイベントは、「プロジェクトD」の主催によるもの。DVD『団地日和』や写真集『団地ノ記憶』などで団地の魅力を紹介している照井啓太さんが参画する団地愛好家集団です。「ダンパク」は今回で三度目の開催になりますが、実際の団地で行われたのは今回が初めて。日用品は何でも揃い、しかも安いと評判の花見川団地商店街振興組合がコミュニティスペースとして使用している施設が、プレゼンテーションやトークショーの会場となりました。当日は100名近くの来場があり、団地の魅力を再発見した一日となりました。午前中は団地散策ツアーが、午後にはプレゼンテーションやトークショーが行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

満員御礼。プレゼンテーション&トークショー

照井氏のほか関西や中部からも駆け付けた「プロジェクトD」のメンバーにより、デザインのおもしろさや団地進化の歴史、団地ライフにまつわるさまざまなグッズ紹介などが発表され、最後にはトークショーが行われました。



快適な団地ライフのためのアイテムを宣伝する懐かしい広告や、当選のお知らせなどにクローズアップ



AM

団地の魅力を発見。団地散策ツアー

5761戸のUR賃貸住宅や商店街、分譲住宅などから成る団地の敷地内を散策。デザイン的なポイントや住みやすさへの工夫など、参加者の方々がそれぞれの視点で団地内の「おもしろい」「かっこいい」を発見。



花見川団地商店街を歩く参加者の方々

PM

展示や昼食の用意にも  
工夫がたくさん

会場には写真や模型など、趣向を凝らした展示物が参加者の方々の目を引きました。そして、この日の目玉のひとつとなったのが、花見川団地商店街の各店から提供いただいた食材による「団地2DK弁当」。団地住棟がプリントされた掛け紙も好評でした。



精巧に再現された団地の模型やこだわりの団地写真などが展示された。「団地2DK弁当」も大好評